

# 保存版 川崎市 津波ハザードマップ

## 地震!そのとき



## 家族の連絡先 ※日中の連絡先・方法

名前	避難場所	電話番号	日中連絡先	血液型	生年月日

## 各ご家庭での備え

避難場所では、必要な物がすぐに手に入るとは限りません。また、ライフラインが停止すると、数日間自宅で生活する事も十分考えられます。下記を参考に、非常持出品や家庭備品を用意し、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

- 非常持出品【一次持出品】**
- 水・食料
    - 飲料水 □ 携行食・非常食 ※ビスケット、缶詰など
    - 粉ミルク・産乳食
  - 医療・衛生
    - 服用している薬 □ 欲求医療品 □ 生理用品
    - 歯ブラシ・口腔ケア用品 □ マスク □ 尿処理 □ アルコール消毒液
  - 貴重品
    - 現金 □ 印章 □ 健康保険証・現金通簿 ※コピー
  - 安全対策
    - ヘルメット・防災ずきん □ 厚底の靴 □ 押手
  - 道具類
    - 携帯電話・充電器 □ 携帯ラジオ □ 懐中電灯 □ 電池 □ 時計
    - 携帯カマ □ ロープ □ ライター・マッチ □ 缶切り □ ナイフ □ 入れ歯・義歯
  - 衣類
    - 上着(防寒着)・下着・靴 □ 携帯レインコート
  - 生活用品
    - ウエットティッシュ・ティッシュ □ タオル □ ゴミ袋・ポリ袋 □ オムツ

- 家庭備蓄【二次持出品】**
- 飲料水
    - 飲料水(1日1人あたり3リットルが目安)
  - 非常食
    - お米や乾菜、缶詰など、日持ちするものをなるべく多く用意しておく。
  - 調理器具
    - カセットコンロ・カセットボンベ □ アルミホイール
    - 簡易食器(紙皿・スプーンなど) □ 食品用ラップ
  - 生活用品
    - 簡易トイレ・汚物処理袋 □ トイレレターペーパー
    - 新聞紙・ビニール袋 □ 寝袋・衣類など □ ドライシャンプー
    - 車のガソリンを満タンにしておく
  - その他
    - ※非難不急な輸送を避けることや、緊急車両の優先給油への協力にもなる。

川崎市津波ハザードマップ 発行・企画: 川崎市総務企画局危機管理課 〒210-8577 川崎市川崎区安本町1番地 044-200-2842 044-200-3972 製作: 東京カートグラフィック株式会社 川崎市ホームページ http://www.city.kawasaki.jp

## 津波の基礎的な知識

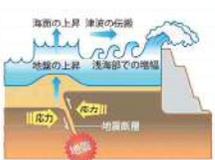
### はじめに

この津波ハザードマップは、神奈川県が公表した「津波浸水予測図」の中から、川崎市に最大の津波被害をもたらす「慶長型地震」の津波浸水予測を表示した地図です。

このマップで、自分の家や学校・職場を確認し、津波が発生したときのために、あらかじめ津波避難施設や3階建て以上の鉄筋コンクリート造等の頑丈な建物への避難経路を確認しておきましょう。

### 津波とは

海底で発生した地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や地すべりなどにより、海水が上下に変動することで引き起こされる、エネルギーが大きい波のことです。海で地震が発生した場合、震源による被害のほか、平成23年(2011年)3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震のように、津波の発生により、海沿いだけでなく、河川を遡り、広い範囲で甚大な被害をもたらす可能性があります。



### 津波の特徴

- 繰り返して襲ってきます。到達する高さは、第1波よりも第2波以降が高くなる場合があります。津波警報や大津波警報、津波注意警報が解除されて、安全が確認されるまで、注意が必要です。
- 水深が浅くなると、津波は急激に高くなります。
- 津波の前には引き潮が起こると言われていますが、地震の発生した方によっては、いきなり大きな津波が押し寄せることもあります。
- スピードは速く、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わり、陸に近づくと速度は遅くなります。陸に上陸してからは自動車と同じくらいの速度で押し寄せるので、津波が海岸に近づくのを見てから避難を始めては間に合いません。

### ハザードマップの想定津波

川崎市では、「最大クラスの津波」として「慶長型地震」を想定しています。「最大クラスの津波」とは、発生頻度は低くても低いもの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波です。

対象地域	慶長型地震
川崎港で予測される最大津波高(注)	約3.71m
最大津波高時の津波の高さ	約2.81m
川崎市内の浸水深	浅野町の一部は約2~3m、その他の地域 2m以下
川崎港への最大津波高の到達予想時間	約96分
川崎市内浸水面積	約18.3km <sup>2</sup> (川崎市の約45%)

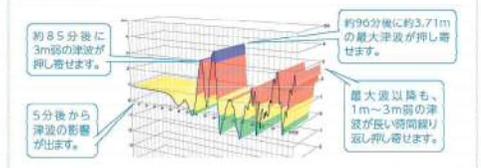
(注) 川崎港の潮位が想定平均高潮位(大潮時の平均高潮水位:東京湾平均海面(T.P)+0.9m)時の高さであると仮定した場合の津波高(0.90m+2.81m=3.71m)

### 慶長型地震とは

1605年(慶長9年)に発生し、地震被害の記録は、兵庫県・淡路島のお寺の建物が倒れただけで(罹災規模4以下)、大きな津波が発生したと言われています。

### 想定地震による津波の高さと到達時間(川崎港)

慶長型地震による津波は、地震が発生しておよそ80分から90分後に、最大高さ3m程度の津波が到達し、その後、少しずつ高まりながら、数十分おきに繰り返して津波が到達すると予想されています。



### 津波浸水予測図

地震による津波が陸上に到達した場合の浸水する陸域の範囲、浸水深等を予測した図です。



- 浸水深**  
陸地が浸水した時に、陸上のある地点で最も高い位置に達した時の地面から水面までの高さです。なお、河川内も表示方法は同じです。
- 最大津波高**  
浸水の水位が最も高い大潮で津波が到達した場合、海岸線の平均海面から最大の津波高です。
- 浸水区域**  
陸域における浸水する範囲を深さごとに色分けしています。

## 安全に避難するためには

早めに避難準備を進めよう 区確認ができた項目にはチェックをお入れください

- 自宅などの確認**
  - 自分の家や学校・職場を地図で確認しましょう。
  - 指定される浸水家や海抜は、川崎区内の道路標高、市立川崎や警察署、交番などの公共施設、町会・自治会の掲示板などに掲示していますので確認しましょう。
- 津波避難施設や避難場所の確認**
  - 川崎市では現在、109箇所(令和3年(2021年)3月末現在)の津波避難施設や避難場所があります。
  - 自宅や、よく行く場所から近い場所を日頃から確認しましょう。
- 避難経路の確認**
  - 地図で安全な避難経路や危険な場所を確認しましょう。
  - 住宅の密集した地区は、瓦の落下や壁が倒壊する危険性があり、避難時には注意が必要です。
  - 角のぼくはもろもろ、川崎市のエリアは浸水予測区域でなくとも浸水する可能性があります。
  - 道の近くは地盤が弱れる可能性があります。
- 地域の助け合い**
  - 災害による被害を軽減するためには、一人ひとりの災害への備けと地域で行う防災対策が大切です。地域に住む人たちが、再発防止の取り組みに向けて準備し、協力する体制を作りましょう。



### 津波から避難する

- 津波警報や大津波警報・津波注意警報が発表されたら**
  - ただちに海や川から離れ、津波浸水予測区域外または津波避難施設等へ避難しましょう。
  - 燃費対策等や被災後の衛生環境等も考慮した持出品を持参しましょう。
  - 津波避難施設に参ったら、誘導標識を確認し、安全な高さまで避難しましょう。
  - 原則として、避難する際は車を走らせず、徒歩で避難しましょう。
  - 一度だけでなく何度も確認する必要があるため、津波警報や大津波警報・津波注意警報が解除されるまでの確認が大切です。
  - 避難する際は、大で粗目の道に呼びかけましょう。また、小さな子どもや高齢者の手を引いて助けると、助け合いをしましょう。

種類	発表基準	想定される津波の高さ(津波の高さ予想の区分)	想定される浸水の範囲	想定される被害
大津波警報	予想される津波の高さが概して3mを超える場合。	10m超(10m<予想高さ)	10m(5m<予想高さ)10m)5m(3m<予想高さ)<5m)	巨大
津波警報	予想される津波の高さが概して1m超2.8m以下の場合。	3m(1m<予想高さ)<3m)	3m(1m<予想高さ)<3m)	高い
津波注意警報	予想される津波の高さが概して0.25m以上1m以下の場合。	1m(0.25m<予想高さ)<1m)	(表記しない)	

- 避難勧告・指示が発令されます**
  - 津波浸水予測図の浸水深に応じて、次のとおり避難勧告・指示が発令されますので、浸水部の沿岸及び川崎区・幸区・中原区の高層川(河川)に避難する場合は事前に確認してください。
  - ※今後、避難情報が変更される可能性があります。詳しくは、IP等を確認してください。
- 情報収集をしましょう**
  - 防災行政無線・ラジオ・テレビ・携帯電話・インターネットなどから正しい情報を入手しましょう。

### (参考)発生確率の高い地震

**【南海トラフ地震】**  
今後30年以内に70~80%の確率で発生可能性がある南海トラフ沿いの巨大地震(M8~9クラス)が起こった場合、川崎市内で想定される震度は5強、津波高は最大(M9)クラスの最大3m(潮位からの高さ、地震発生による地盤の隆起・沈降を考慮)、津波到達想定時間(津波高が1mとなる時間)は、最短で80分後です。

**【首都直下地震(都心南部直下を震源とする地震)】**  
今後30年以内に70%程度の確率で発生可能性があるM7クラスの首都直下地震のうち、神奈川県に影響が大きい都心南部直下を震源とする地震が起こった場合は、川崎市で想定される震度は6強、津波は神奈川県内で最大1mと想定されます。

### (参考)相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波 津波浸水想定



## 災害時の情報収集方法

### 情報収集ツール

**【メールニュースかわさき「防災気象情報」】**

登録したメールアドレス宛に防災気象情報が配信されます。

登録方法: かわさき防災アプリから登録してください。

かわさき防災アプリ

**【川崎市危機管理室】公式 Twitter(ツイッター)**

アカウント: @kawasaki\_bousai

URL: https://twitter.com/kawasaki\_bousai

**【川崎市 LINE 公式アカウント】**

アカウント: @kawasaki\_city

ご利用上の注意: 本サービスはLINEのアカウント登録が必要です。LINEのアカウント登録が必要です。LINEのアカウント登録が必要です。

**【かわさき防災アプリ URL】**

かわさき防災アプリ

**【川崎市防災ポータルサイト URL】**

http://portal.kikkian.city.kawasaki.jp/

**【川崎市防災気象情報 URL】**

http://www.micosoft.jp/kawasaki/

### 防災行政無線

災害時には、防災気象情報をお知らせするため、防災行政無線の屋外受信機(スピーカー)を設置して、放送内容を確認してください。放送内容は「防災行政無線」により届くことが可能です。

### 【防災テレホンサービス】

神奈川県内の一般加入電話、携帯電話及び一部のIP電話 0120-910-174(通話料無料)

携帯電話、神奈川県内の一般加入電話・携帯電話など044-245-8870(通常の通話料がかかります)

### テレビ・ラジオ

電波デジタル放送・ワンセグ(テレビ番組)・ケーブルテレビ(ケーブル、YOUテレビ、ファミリー)・FM79.1MHz

### 緊急連絡メール

- 携帯電話やスマートフォンなどに、緊急地震速報や津波警報、災害・避難情報などを一斉に配信します。
- 受信するための事前登録は不要で受信料もかかりません。

### 【災害情報確認】災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板

災害発生時に、被災地への通信が増加しつづけるにつれて、状況が不安定になった場合に提供されます。

**【災害用伝言ダイヤル(171)】**

災害発生時に、被災地への通信が増加しつづけるにつれて、状況が不安定になった場合に提供されます。

利用の方法: 1. 171をダイヤルする 2. 発信番号をダイヤルする 3. 発信番号をダイヤルする

自分自身の災害情報を携帯電話により登録。また、家族や友人などの災害情報を携帯やパソコンなどで確認することが出来ます。

### SNSやインターネットを使用した通話

LINE(ライン)、Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)などのSNSで相互の安否を知らせましょう。また、通常の電話は混雑で使用できなくなりますが、インターネットを使用したスマートフォンアプリは比較的容易に通話ができます。

### (参考)相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波の説明

- 神奈川県は、最大クラスの津波として、相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波を想定し、津波浸水予測図を公表し、「津波防災地づくりに関する法律」に基づく「津波浸水想定」を平成27年3月に公表しました。相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波(M8.7)
  - 発生期間: 2千年から3千年もしくはそれ以上
  - 最大津波高: 約2.9m(津波の高さのみ)高さは、約2.0m
  - 最大津波高到達予想時間: 約134分
  - 浸水面積: 約3.2,96km<sup>2</sup>
- 川崎市では、発生期間や対策の継続性を考慮して、「慶長型地震による津波」への対策を継続します。
  - ※現在、「津波浸水予測区域」は未指定です。